

## 静岡県最後のタガメ個体群の保全活動

活動地域  静岡県



タガメ生息地の保全・復元作業

### 課題

静岡県におけるタガメは県西部の限られた地域に生息しているのみで、絶滅の危機に瀕している。耕作放棄による水田や湿地の減少がハビタットの消失に大きく関わっている。

### 目標

既知のタガメの生息地(ため池、湿地)は環境の劣化が危惧されている。環境教育や自然体験活動として、耕作放棄地の湿地化(ビオトープ化)やため池の復元等を進めたい。

今後の  
展望

谷津田の再整備は始まったばかりで、タガメの増加は確認できていない。その他の貴重な生物も生息しているため、継続した整備を行う。広く一般市民に向けた講座等を企画し、市民の関心を高めたい。

つづける助成

1年目

実践

### 活動内容と成果

- タガメの産卵状況を調査し、卵塊数(昨年より減少)や餌環境を把握することができた
- 卵塊数の減少は様々な要因が考えられるため、継続した調査が必要である
- 休耕田を改善したビオトープでも、造成後5年連続でタガメの産卵を記録した
- 貴重な動植物が生育・生息する大規模な谷津田の再生を行っている。台風による被害からの復旧に労力を費やしたが、復旧の際に導水施設を改善し、管理しやすい整備ができた
- 若い世代(大学生)に向けて、ワークショップを開催できた。アンケートではタガメの保全に高い関心を示した



卵塊を保護するタガメ(♂)

新たな生息環境  
500m<sup>2</sup>程度を整備

400 m<sup>2</sup>

ワークショップの開催

2回

今年度計画の達成度

80%

全体計画の達成度

80%

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■苦勞した点

台風により隣接する斜面が崩落し、整備中の谷津田に土砂や倒木が流入した。復旧に労力を費やし、十分な再整備ができなかった。

#### ■工夫した点

復旧作業の際に堰や溜研を設置し、土砂の流入防止機能に加え、水量をコントロールできるような整備を行った。